

# JEITA2013技術セミナー「日本が取り組むべき成長戦略とは！」－閉塞感の殻をぶちやぶるために－

- 主催：関西支部運営部会・関西IT・ものづくり技術委員会
- 担当部署：関西支部
- 参加者数：約245名

## 概要

日本経済は円高、株安、デフレをようやく脱却しつつあるが、製造業、特にエレクトロニクス産業は苦境が続く、新たな成長に向けた戦略を描き切れていない。閉塞感を打破し、成長を実現する方向性を多様な視点から探るべく、関西支部では9月13日(金)に大阪歴史博物館講堂にて、標記をテーマに「2013技術セミナー」を開催した。最初に、一橋大学イノベーション研究センターの米倉誠一郎教授から、「イノベーション」は、「新たな組み合わせによる価値の創造」で、組織や市場の変革を含む広い概念であり、単なる新技術、新ビジネスモデルだけではないことが述べられ、日本企業はその意識改革を元にグローバル市場に立ち向かう必要性が説かれた。次に、(株)ニッセイ基礎研究所の百嶋徹上席研究員からは、アップルのものづくり経営に関する詳細な分析が示された。未曾有の経営危機から立ち直りグローバル企業に復活した経緯と、より良い世界にする高い志を原動力

に、創造性と経済性を両立する組織体制を徹底的に追求してきた姿勢から、日本企業は学ぶ点が多くあるのでは、との指摘があった。

最後に、富士フィルム(株)の井駒秀人技術戦略部長からは、デジタル化の進展による銀塩フィルム事業の衰退に応じ、事業構造と社員の意識を改革して「第二の創業」をめざす同社の取り組みが紹介された。事業環境の大きな変化により、新規事業の立ち上げ、事業構造の変革を迫られ、それを現実にまた着実に実行されているその具体的な取り組みの詳細な説明がなされた。そこでは「絶えず新たな商品・事業を産み、変化し続ける企業」が強く志向されている。

会場はほぼ満席となり、アンケートでも大変高い評価が得られるなど、充実したセミナーとなった。

## プログラム

### ○開会挨拶

関西IT・ものづくり技術委員会 委員長 藪田哲史氏 (シャープ(株))

### ○「創発的破壊：イノベーションとパラダイムチェンジ」

一橋大学 イノベーション研究センター 教授/プレトリア大学GIBS日本研究センター 所長 米倉誠一郎氏

### ○「アップルのものづくり経営に学ぶ－日本のエレクトロニクス企業へのインプリケーション－」

(株)ニッセイ基礎研究所 社会研究部 上席研究員 百嶋 徹氏

### ○「富士フィルムの研究開発の変革と新規事業創出の戦略」

富士フィルム(株) R&D統括本部 技術戦略部長 井駒秀人氏

### ○閉会挨拶

関西IT・ものづくり技術委員会 副委員長 渡辺善規氏 (パナソニック(株))

